
わだいフェスタ 2024 実施レポート



2024年11月3日（日）午後1時、和歌山大学栄谷キャンパスにおいて「わだいフェスタ 2024 - 大学にゆるキャラは必要か？ ゆるキャラから見た大学ブランディング」と題したフォーラムを開催し、和歌山大学卒業生をはじめ、学生・教職員・一般参加者等約100名が参加しました。

前日は温帯低気圧の影響であいにくの荒天でしたが、当日は快晴に恵まれ、素晴らしいイベント日和となりました。今回は午前11時開会の和歌山大学同窓会総会に引き続き、青少年の科学の祭典「おもしろ科学まつり 2024」と共同開催しています。また、和滋戦（滋和戦）などで伝統的に交流のある滋賀大学の協力を受け、滋賀大学公式キャラクタ「カモンちゃん」をはじめ、徳田陽明副学長／教育学部教授や大学教職員・学生ら滋賀大学関係者が出席しました。



（和歌山大学マスコットキャラクタ「わだにゃん」・滋賀大学公式キャラクタ「カモンちゃん」）

フォーラムは二部構成で行われ、和歌山大学教育学部OGのアナウンサー・笠野衣美氏により司会進行が行われました。冒頭では本山貢学長による挨拶ののち、第一部では、「和歌山大学の今とブランド」と題して、本山学長、西村竜一本学教育機構データ・インテリジェンス教育研究部門講師、西川昌克飛耀会（観光学部同窓会）会長、教育学部学生の南方ののかさんが登壇し、足立基浩副学長／経済学部教授と経済学部学生の湯川愛理さんがコーディネーターを務め、「和歌山大学の今とブランド」について活発な意見交換が展開されました。それぞれの自己紹介や取り組みののち、本山学長や西村教員が考える和歌山大学の魅力とはなにかを質問し、その回答を受けて卒業生や在学生の立場で実際どのように捉えているのかについて積極的な意見交換がなされました。



和歌山大学は各学部等・研究科やクリエをはじめ、学生の教育に積極的で、また学生の皆さんも意欲的に学びに取り組んでいます。大学も教職員との距離も近いことも特長です。学生は全体的に真面目な方が多く、ときには地味に見える傾向があります。このことについて、決して学生に自信がないわけではなく、ブランディングの方向性に課題があるのではないかということです。その他、話題作りのためには、若い世代が使用するSNSの活用や、学生ならではのユニークなアイデアが発表されました。

前半のテーマとなる「ブランド（ブランディング）」については、自身の課題となっている部分をさらけ出す勇気も重要であることや、大学だけでブランドを発信することは難しい現状にあり、広報をはじめとする連携協力が必要不可欠であり、今後の和歌山大学の発展に向けて、それぞれの立場から貢献していくことが確認されました。



引き続き第二部では、「ゆるキャラって何なん？ ブランドとプライド」と題して、和歌山大学マスコットキャラクター「わだにゃん」と滋賀大学公式キャラクター「カモンちゃん」が登場し、キャラクターの紹

介とともに、西山さよ滋賀大学広報課長らが登壇し、ゆるキャラとブランディングについて多角的な紹介が行われました。



それぞれのキャラクターの誕生の経緯をはじめ、さまざまなシーンでキャラクターが活躍していることが確認され、また「キャラクターが大学にいて良かったこと」として、わかりやすいアイコンを持つかわいいキャラクターを通して大学そのものを見ていただくきっかけとなることなどが言及されました。

課題としては、キャラクターの露出度をどのように増やしていくかや、キャラクターと大学収入との兼ね合いなど、「これからの活用方法」としては、キャラクターを活用しながらよりよい学生生活が行われることについて話し合われ、客席からも多くのアイデアをとともに、添田久美子副学長／理事から感想が出されました。



第二部終了後は、足立副学長による〈和歌山大学基金へのお願い〉が行われ、最後は参加者全員で集合

記念写真を撮り、「自由と平和を愛し、文化をすすめる」文化の日らしい催しとなりました。

なお、催しの終了後には、和歌山大学と滋賀大学の学生による交流会も行われ、お互いの大学生活や教育環境について話し合われたほか、和滋戦（滋和戦）に限らず、今後の相互交流についても活発に進めていくことを確認しました。

今回の「わだいフェスタ 2024」では、和歌山大学の今・ブランドや、ゆるキャラを活用したブランディングを多くの方々に知っていただき、その方々から更に多くの関係者に情報共有されることで、和歌山大学を応援したいと思う方が増えていくことを期待するとともに、これまで以上に、和歌山大学のブランディングを展開していくことに努めていきます。

最後に、「わだいフェスタ 2024」に参加いただきました皆様、ご協力をいただきました皆様に心より御礼申し上げます。引き続き和歌山大学をご支援いただきますようお願い申し上げます。



末尾になりますが、「わだいフェスタ 2024」の参加者には、本学教育学部OBがオーナーを務める「森農園」（和歌山大学東隣）のみかんが配布されました。

また、和歌山大学と滋賀大学の簡単なプロフィール、「わだにゃん」「カモンちゃん」の概要は、当日お渡しした資料にも掲載していますので、あわせてご覧ください。



(2024年11月)